

高崎小

# どんぐりっ子通信

東根市立高崎小学校

令和2年5月1日(金)

編集・発行 高橋 千華

ほん しょうかい



## 本の紹介



### 『ぐりとぐら』

さくしゃ / なかがわ りえこ  
作者 / 中川 李枝子

え / おおむら ゆりこ  
絵 / 大村 百合子

やまわき ゆりこ  
(山脇 百合子)

しゅっぱんしゃ / ふくいんかんしよてん

出版社 / 福音館書店

※ 他に『ぐりとぐらのかいすいよく』  
『ぐりとぐらとくるりくら』など。

野ねずみの「ぐり」と「ぐら」は、大きなかごを持って、森の奥へ出かけました。・・・道の真ん中に、とても大きなたまごが落ちていました。ぐりとぐらは、たまごを見てどんな料理にしようか、想像します。目玉焼き、たまご焼き、・・・かすてら・・・甘〜い美味しそうな匂いに誘われて、森の動物たちが集まってきます。

物語の中に登場する、赤いバケツを持った小熊の「やまのこぐ」、タオルとブラシを持ったおおかみは、絵本『そらいろのたね』と児童書『いやいやえん』にも出てきます。集まった動物たちは31ひき。森の動物たちの中で気になるのは、4ひきのトカゲなのか、ヤモリなのか・・・図鑑で調べましたが、どちらなのか、わかりませんでした。不思議に思ったことを、調べてみるのもおもしろいですね。そして、「おなべのふたをとると、まあ！ きいろい ○○○○が、ふんわりと かおをだしました。」・・・この本を読んだあとは、甘い○○○○が食べたくなりますね。読んでみてください。

